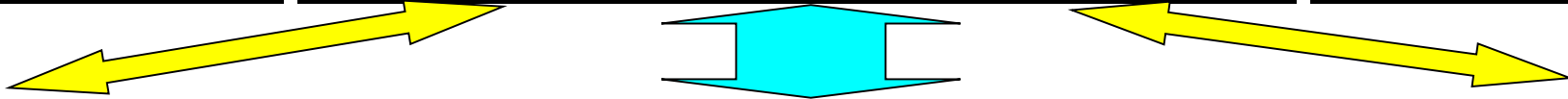


平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

園田東中学校 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ○全国調査の結果から見られる課題 ・基礎的な知識を問う設問においては、平均に近づいている。 ・数学に対する学習意欲が低い傾向にある。 ・主体的な学習習慣や家庭学習の習慣が十分に身につけていない傾向にある。 ・家庭においては、宿題を行う割合は増えてきているが、予習や復習を行う割合が低い傾向にある。 ・家庭において、計画を立てて勉強をする割合が低い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学教授を招聘して、協働的な学びのための教職員に係る「コアチーム」の形成を図る【(1)アクティブ・ラーニング講師招聘を活用】 ○ 生徒の主体性を育成する授業づくりを推進する【(1)アクティブ・ラーニング講師招聘を活用】 ○ 先進校における取組を検証するとともに活用を図り、授業力向上を目指す(生徒の主体的な学びを重視した授業の工夫・改善)【(2)旅費を活用】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学力層に応じた学習支援の実施(補充、発展的な学習)【(4)放課後等学習支援を活用】 ○ 授業における振り返り活動を推進し、家庭学習に繋げる。 ○ 予習(下調べ)、授業、復習(くり返し、発展)の一体的な取組 ○ eライブラリーを活用し、課題プリントの作成及び家庭学習の支援を行う。 ○ 長期休業を活用した、学習支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英検への挑戦「ホップ・ステップ・ジャンプ」事業を活用。 ○ タブレット等のICT機器を活用した授業の実施。 ○ 読書力向上のため、図書ボランティア等の人材を活用し、図書館の積極的活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力学習状況調査 (1)学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・平均正答率(全国平均+0.5ポイント以上) (2)質問紙調査(当てはまる+まあ当てはまる) <ul style="list-style-type: none"> ・数学への学習意欲の向上(+5ポイント以上) ・予習・復習(+5ポイント以上) ・計画的に学習を行う(+5ポイント以上) ・授業の内容がわかる国、算・数(+3ポイント以上) ・授業の目標が示されている(+5ポイント以上) ・振り返り活動が行われている(+5ポイント以上) ト) <ul style="list-style-type: none"> ・Rノート(1日2ページの家庭学習)の活用 ○ 保護者アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で「よく本を読んでいる」(+5ポイント以上)



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小から中への円滑な接続を図るためのアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの検討と試行 ○ 入学前テストの検証を踏まえた小中における授業の改善の研修 ○ 夏季合同研修会の実施(中学校教員による小学校の授業研究及び小学校教員による中学校の授業研究) ○ 小中合同のカウンセリングマインド研修の実施。 ○ 中学校教師の小学校の授業参観。 ○ トライやる期間を活用した、授業交流。 	(1)アクティブ・ラーニング推進支援	○ 協働的な学びの創造(兵庫教育大学 伊藤 博之氏による研修 3回)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上アクションプランの明示 ○ 「家読」の実施による読書力の向上 ○ 地域の教育支援人材の放課後学習への活用。 ○ 保護者ボランティアによる図書館の積極的活用。 ○ 土曜参観や参観週間による、学習状況の発信。 ○ 保護者アンケートの活用。 ○ 生徒の地域への積極的参加を通じた、シチズンシップの育成。
	(2)先進校視察支援	○ 広島大学附属小・中学校に視察に行き、校内研究に活かす。	
	(3)放課後等学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後学習 2h×週3×20週 ○ 土曜学習 2h×20週 ○ 夏季休業期間 3h×6回 	
	(4)学力定着支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ eライブラリーを活用し、基礎学力の定着を図る。 ○ 学習支援に係る用紙・インク代 ○ 学習支援に係る書籍代 	
	(5)地域人材活用支援	○ 図書ボランティアの活用により、図書館の積極的活用を図る。	